

京都工芸繊維大学における~~セクシュアル~~ハラスメントの防止等に関する規則

平成16年4月1日制定

最終改正 平成27年6月25日

## (目的)

第1条 この規則は、京都工芸繊維大学（以下「本学」という。）における~~セクシュアル~~ハラスメント~~及びこれに類する人権侵害（以下「セクシュアルハラスメント等」という。）~~の防止~~及び並びに~~排除のための措置並びに~~セクシュアルハラスメント等~~に起因する問題が生じた場合に適切に対応するための措置（以下「~~セクシュアルハラスメントの防止等~~」という。）に関し、必要な事項を定めることにより、~~セクシュアルハラスメントの防止等~~のための学内体制を整え、人権侵害のない学内環境を維持することを目的とする。

## (定義)

第2条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) ハラスメント 次号から第6号までに掲げる言動をいう。

~~(42)~~ セクシュアル・ハラスメント 役員、職員、学生等が他の役員、職員、学生等を不快にさせる性的な言動をいう。

(3) 妊娠・出産、育児休業等に関するハラスメント 役員、職員、学生等が、妊娠・出産等又は妊娠・出産、育児若しくは介護に関する休業その他の制度若しくは措置の利用を理由として、他の役員、職員、学生等に不利益又は不快感を与える言動をいう。

(4) アカデミック・ハラスメント 役員、職員、学生等が、職務上の地位若しくは権限又は事実上の上下関係を不当に利用して、他の役員、職員、学生等に対して行う研究上、教育上又は修学上の不適切な言動をいう。

(5) パワー・ハラスメント 役員及び職員が、職務上の地位若しくは権限又は事実上の上下関係を不当に利用して、他の役員及び職員に対して行う就労上の不適切な言動をいう。

(6) その他のハラスメント 前4号に定めるもののほか、役員、職員、学生等による他の役員、職員、学生等の人権を侵害する不適切な言動をいう。

~~(27)~~ セクシュアルハラスメント等に起因する問題 セクシュアルハラスメント等のためにより役員及び職員の就労上又は学生等の修学上等の環境が害されること及び並びにセクシュアルハラスメント等への対応に起因して役員及び職員が就労上の不利益を、又は学生等が修学上等の不利益を受けることをいう。

## (職員等の責務)

第3条 役員、職員、~~及び~~学生等は、~~セクシュアルハラスメント等をしないように注意するとともに行わないことはもとより、~~これの防止に努め~~るものとするなければならない。~~

## (監督者の責務)

第4条 職員を監督する地位にある者（以下「監督者」という。）は、次に掲げる事項に注意して~~セクシュアルハラスメント等~~の防止及び排除に努めるとともに、~~セクシュアルハラスメント等~~に起因する問題が生じた場合には、迅速かつ適切に対処~~するものとするしなければならない。~~

(1) 日常の執務を通じた指導等により、~~セクシュアルハラスメント等~~に関し、職員の注意を

喚起し、~~セクシュアル~~ハラスメント等に関する認識を深めさせること。

- (2) 職員の言動に十分な注意を払うことにより、~~セクシュアル~~ハラスメント等又は~~セクシュアル~~ハラスメント等に起因する問題が職場に生じることがないように配慮すること。

(本学の責務)

第5条 本学は、職員、学生等に対し、この規則の周知徹底を図るものとするなければならない。

- 2 本学は、~~セクシュアル~~ハラスメントの防止等のため、職員、学生等に対し、パンフレットの配布、ポスターの掲示、意識調査等により啓発活動を行うよう努めるものとする。
- 3 本学は、~~セクシュアル~~ハラスメントの防止等を図るため、職員に対し、必要な研修を実施するものとするしなければならない。
- 4 本学は、新たに職員となった者に対して~~セクシュアル~~ハラスメント等に関する基本的な事項について理解させるため、及び新たに監督者となった職員に対して~~セクシュアル~~ハラスメントの防止等に関しその求められる役割について理解させるため、研修を実施するものとするしなければならない。
- 5 本学は、~~セクシュアル~~ハラスメント等に起因する問題が生じた場合には、速やかに第10条に規定する定めるハラスメント対策委員会の設置その他の必要な措置を取るとともに、~~セクシュアル~~ハラスメントをした者等に対しては厳正に対処するものとするしなければならない。

(相談員の設置)

第6条 ~~セクシュアル~~ハラスメント等に関する苦情の申出及び相談（以下「苦情相談」という。）が職員、学生等からなされた場合に対応するため、本学に総括ハラスメント相談員（以下「総括相談員」という。）及びハラスメント相談員（以下「相談員」という。）を置く。

- 2 総括相談員は、学長が指名する理事をもって充てる。
- 3 相談員は、性別、年齢、職種等を考慮して第9条に規定するハラスメント防止委員会が行う推薦を経て、学長が委嘱する。
- 4 相談員の任期は、委嘱の日の属する年度の末日までとし、再任を妨げない。
- 5 相談員は、職員、学生等からの苦情相談に対応するとともに、必要に応じて総括相談員、他の相談員、関係組織等と連携を図り、助言等を行う。

(相談員の責務)

第7条 相談員は、苦情相談に係る問題の事実関係の確認及び当該苦情相談に係る当事者に対する指導、助言等により、当該問題を適切かつ迅速に解決するよう努めるものとするなければならない。この場合において、相談員は、厚生労働省が定める指針等に十分留意するものとするなければならない。

- 2 相談員は、苦情相談への対応に当たっては、関係者のプライバシー、名誉その他の人権を尊重するとともに、知り得た秘密を他に漏らしてはならない。
- 3 相談員は、苦情相談の件数、内容（相談者が希望しない事項を除く。）その他の事項を、所定の時期及び随時に~~ハラスメント防止委員会~~総括相談員に報告するものとする。

(相談員会議)

第8条 相談員相互間の連絡調整及び苦情相談体制の充実を図るため、ハラスメント相談員会議（以下「相談員会議」という。）を置く。

- 2 相談員会議は、総括相談員及び相談員をもって組織する。
- 3 総括相談員は、相談員会議を招集し、その議長となる。
- 4 相談員会議の事務は、人事労務課が処理する。
- 5 相談員会議の運営に関し必要な事項は、相談員会議の議を経て、学長の下承を得て総括相談員が定める。

(ハラスメント防止委員会)

第9条 本学に、次に掲げる事項を行うため、ハラスメント防止委員会（以下「防止委員会」という。）を置く。

- (1) ~~セクシュアル~~ハラスメントの防止等に係る啓発及び研修に関し審議すること。
- (2) 本学の苦情相談の体制、方針等に関し審議すること。
- (3) ~~セクシュアル~~ハラスメント等~~等~~に起因する問題への対策に関し審議すること。
- (4) 本学における~~セクシュアル~~ハラスメント等に関する概要をまとめ、公表すること。
- (5) その他~~セクシュアル~~ハラスメントの防止等に関し必要な事項に関し調査審議すること。

2 防止委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長が指名する理事 若干名
  - (2) 学長が指名する副学長 若干名
  - (3) 研究科長
  - (4) 各学系長
  - (5) 各学域長
  - (6) 事務局長
  - (7) 相談員のうちから、学長が指名する者 若干名
- 3 前項第7号の委員は、学長が委嘱し、相談員でなくなった場合は、委嘱を解くものとする。
  - 4 防止委員会に委員長を置き、第2項第1号の委員のうちから学長が指名する。
  - 5 委員長は、会議を招集し、その議長となる。
  - 6 委員長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代行する。
  - 7 防止委員会の事務は、人事労務課が処理する。
  - 8 防止委員会の運営に関し必要な事項は、防止委員会の議を経て、学長の下承を得て委員長が定める。

(ハラスメント対策委員会)

第10条 ~~セクシュアル~~ハラスメント等~~等~~に起因する問題が生じた場合に適切に対応するため、総括相談員からの報告に基づき事実関係の調査及び必要な措置を行う必要があると学長が認めるときは、本学にハラスメント対策委員会（以下「対策委員会」という。）を置く。

- 2 対策委員会は、事案ごとに置くものとし、問題の解決のために必要な事実関係の調査その他の事項を行う。
- 3 対策委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長が指名する理事 若干名
- (~~12~~) 防止委員会委員のうちから、防止委員会委員長が推薦する者 若干名
- (~~23~~) 役員又は職員 若干名

4 前項の委員に、必要に応じ専門的知識を有する学外者を加えることがある。

5 ~~前2項第3項第2号及び第3号並びに前項~~の委員は、学長が委嘱し、その任期は、第9項

の報告を終えるまでとする。

6 対策委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する第3項第1号の委員のうちから学長が指名する。

7 対策委員会の議事その他の必要な事項は、個々の委員会の議を経て、学長の了承を得て委員長が定める。

8 対策委員会は、被害者の救済、問題の解決、再発の防止のために必要な措置その他の事項を、学長に勧告することができる。

9 対策委員会は、調査結果その他の活動の報告を学長、防止委員会及び監督者に対して行う。

10 対策委員会委員は、活動に当たっては、関係者のプライバシー、名誉その他の人権を尊重するとともに、知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

11 対策委員会の事務は、人事労務課が処理する。

(不利益取扱いの禁止)

第11条 学長、監督者その他の役職員は、セクシュアルハラスメント等に対する苦情の申出、当該苦情に係る調査への協力その他セクシュアルハラスメント等に関して正当な対応をした職員又は学生等に対し、そのことをもって不利益な取扱いをしてはならない。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年7月8日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成27年7月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

2 施行日の前日において、現に在任している改正前の規則第6条第1項の相談員は、改正後の規則第6条第1項の相談員とみなし、その任期は、現に委嘱されている期間の終了する日までとする。

3 施行日の前日において、現に在任している改正前の規則第9条第1項第8号の委員は、改正後の規則第9条第1項第7号の委員とみなし、その任期は、現に委嘱されている期間の終了する日までとする。

附 則

この規則は、平成29年10月1日から施行する。